

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と 有馬中学校における今後の取組について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

5月27日（木）に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果が配付されました。調査結果をもとに、本校の学校教育目標を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

学校教育目標「**未来に生き、未来を創造し、未来に活躍する人を育成する**」

- めざす生徒像
- 豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人
 - 自主性に富み、責任感あふれる人
 - 心身共に健康で、調和のとれる人

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されています。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

1 調査結果の概要（全国の結果を50とし、それに対する本校の数値を示しています。）



- 学校以外での学習時間の確保や授業に意欲的に取り組む態度、学習結果を見直し、次に生かす姿勢などは全国平均を上回っています。
- 国語、数学ともに、「授業がわかる」と答えた生徒の割合は全国平均を上回り、「書く能力」、「読む能力」、「数学的な見方や考え方」、「数学的な技能」も全国平均を上回っています。
- 普段、家庭学習を計画的に行っている生徒（59.6%）は全国平均（63.5%）よりやや少なく、臨時休業中においては全国平均（37.6%）も減少していますが、本校の割合（35.2%）はさらに下回っています。
- コロナ感染症拡大による臨時休業中、学習について不安に感じていた生徒は全国平均より少ないものの、半数以上を占めています。
- 「自分には良いところがある」、「思っていることや感じていることをきちんと言葉で表せる」と答えた生徒の割合は全国平均を上回っています。
- 「学校に行くのは楽しい」と感じ、「人が困っている時には進んで助ける」生徒の割合は全国平均を上回っています。
- 夢や目標を持ち、挑戦していく生徒の割合は全国平均よりやや下回っています。
- いじめを否定する生徒の割合（93.2%）は高いですが、全国平均（95.9%）をやや下回っています。
- 休校中を含め、起床、就寝時間など規則正しい生活ができている割合は全国平均をやや下回っています。
- 平日、ゲームを1時間未満しかしない生徒の割合はやや少なく、多少でも読書する生徒の割合はかなり下回っています。

2 調査結果をもとにした分析と課題

※ 成果 課題 分析 今後の取組

※示している数値は「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の合計数値、（ ）は全国の数値です。

【これまでの課題に対する学校の取組】学習面において、授業では生徒自らが学習内容を焦点化できるよう、目標やねらいを明確に示し、学習内容を振り返ることができるよう板書やワークシートの工夫を心掛けました。諸活動においては様々な制約の中で、実施可能な体験活動や話し合いを大切に学級活動などに取り組み、他者を思いやり、人とのコミュニケーション能力を伸ばし、自分で判断し、行動し、言葉によって考えや気持ちを適切に表現できる生徒を育成する指導に重点を置いてきました。

(1) 豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人

1 国語の調査結果

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ① 目的に応じて、考えを話したり、質問する。 | 76.4% (61.3%) |
| ② 考えが伝わりよう根拠を明確にして書いている。 | 87.2% (74.6%) |
| ③ 国語の学習は将来役に立つと思う。 | 96.0% (88.7%) |

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 国語の勉強は好きですか。 | 68.4% (60.8%) |
|----------------|---------------|

「考えを話したり、質問する。」「根拠を明確にして書く。」生徒の割合が全国平均をかなり上回っています。「国語の学習は将来役に立つと思う。」生徒はかかなり多くいます。それにも関わらず、「国語の勉強が好き」な生徒がやや少ないようです。

【今後の取組】一昨年に比べ、授業がわかる、学習が大切だと思う、将来役に立つと思う生徒の割合は増えました。そうした前向きな気持ちが学習成果にも表れていますが、国語の学習そのものに対して、おもしろさを感じる生徒がやや少ない傾向があるようです。知的好奇心を高めるよう、生徒が主体的に学ぶ指導法を工夫していきます。

2 数学の調査結果

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ① 数学の勉強は好きですか。 | 66.0% (59.1%) |
| ② 解き方、考え方がわかるようにノートに書いている。 | 92.4% (86.6%) |

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① 数学の学習は将来役に立つと思う。 | 72.0% (74.6%) |
| ② 数学の勉強は大切だと思う。 | 83.2% (84.1%) |

○「数学の勉強が好き」「解き方、考え方がわかるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が全国平均を上回り、学習に関心を持ち、勉強方法の工夫をして取り組んでいます。
●「社会で役に立つ」「大切だと思う」と回答した生徒の比率が全国平均を下回ります。

【今後の取組】「数学の勉強が好き」「授業の内容はよく分かる」生徒の割合は全国平均や一昨年度の本校の割合を上回っています。そうしたことから「数学的見方、考え方」「数学的スキル」も全国平均より高い数値を示していると捉えました。しかし、学習の重要性や将来の有用性への認識が一昨年と変わらずやや低いです。引き続き、身につけた能力が活用されることで、自己の生き方を考える上で大いに役立つことが実感できる授業作りをめざしていきます。

(2) 自主性に富み、責任感あふれる人・心身ともに健康で調和のとれる人

1 生徒質問紙の調査結果

- | | |
|-------------------------|---------------|
| ① 自分には良いところがある。 | 85.6% (76.2%) |
| ② 思いや感じたことを言葉で表せる。 | 82.4% (75.2%) |
| ③ 考えがうまく伝わりよう工夫して発表する。 | 71.6% (62.0%) |
| ④ 話し合う時、相手の話や意見を最後まで聞く。 | 98.0% (96.5%) |
| ⑤ 話し合いで考えを深めたり、広げたりできる。 | 84.4% (77.8%) |
| ⑥ 課題の解決に向け、自分で考え、取り組む。 | 88.0% (81.0%) |

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ① 人の役に立つ人間になりたいと思う。 | 93.6% (95.0%) |
| ② 今住んでいる地域の行事に参加している。 | 24.4% (43.7%) |
| ③ 地域や社会をよくするため何をすべきか考える。 | 34.4% (43.8%) |

○「自分には良いところがある。」「思いや感じたことを言葉で表せる。」「課題の解決に向け、自分で考え、取り組む。」と肯定的に回答した生徒の割合が多いことは生徒の自尊感情が高く、自信をもって自己表現したり、行動できる良い状況と考えています。話し合い活動に関わる回答の数値が高いことから、話し合い活動を通して自他共に尊重し合う雰囲気醸成されている結果と捉えています。

●将来の夢や目標を持ったり、社会的な貢献を目指すことについての数値が全国平均をやや下回ります。身につけた能力を生徒自らの意思で伸ばしたり、活かすことには課題があるといえます。また、そのために地域と関わったり、読書することで視野を広げることも課題とされます。

【今後の取組】引き続き、話し合い活動の中で互いを尊重し合って意見交換する場を設け、自己有用感を高めながら、自信をもって自主的に活動できる生徒を育成します。また、昨年度実行できなかった地域での体験活動やSDGsの視点を取り入れた活動、キャリア在り方生き方教育を推進し、主体的に社会と関わりを持つようとする生徒を育成します。

●教育委員会から：有馬中学校では、豊かな思考力、自主性、責任感のある生徒の育成に力を入れています。生徒自らが自主的に取り組めるよう、目標やねらいを明確に示したことにより、授業においても進んで取り組む姿勢がみられました。また、キャリア在り方生き方教育の実践が、自己肯定感や思いやりの心の育成につながっていると感じています。

宮前区・教育担当